

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	無電柱化に係るコスト縮減方策検討経費		担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H24		担当課室	環境安全課 道路交通安全対策室		室長 阿部 悟		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 5 快適な道路環境等を創造する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無電柱化については、近年、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観・住環境の形成、歴史的町並みの保全、観光振興等の観点から社会のニーズは高いものの、一般的に無電柱化の整備費用が高いこと、整備に長期間要すること等の課題が生じているところである。このため、本事業では、無電柱化の一層の推進を図るため、無電柱化に係る更なるコスト縮減方策について検討を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	無電柱化の整備状況やコスト縮減に係る課題等を踏まえつつ、新たな無電柱化の整備手法や電線共同溝の技術基準の策定等によるコスト縮減に係る検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	150	134	45			
	執行額	61	129	45				
	執行率 (%)	40.8%	96.6%	99.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	無電柱化の一層の推進を図るため、無電柱化に係る更なるコスト縮減方策について検討		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・無電柱化の整備手法に係る検討 ・無電柱化の現状把握 等		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	道路環境等対策費	-	-					
計	-	-						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	快適な道路環境等の創造に寄与	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	道路に係る行政ニーズに効率的かつ効果的に対応するための基礎的検討を実施。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。 また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。 これまでの検討結果を有効活用するために全国に周知することが必要である。 				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改善の	平成24年度をもって事業廃止				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	213	平成24年	222

国土交通省
42百万円

〔調査発注・進捗管理〕

A. 地方整備局（6地整）
13百万円

〔調査発注・進捗管理〕

【指名競争入札等】

B. 民間企業（10社）
13百万円

〔無電柱化の進捗状況に係る
検討等〕

C. 国土技術政策総合研究所
8百万円

〔調査発注・進捗管理〕

【企画競争入札】

D. 民間企業（4社）
8百万円

〔無電柱化の手法に
係る検討等〕

【企画競争入札】

E. 公益法人（1社）
21百万円

〔現状分析、無電柱化の
整備計画に係る検討等〕

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.中部地方整備局			E.一般財団法人日本総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査発注・進捗管理	4		無電柱化の現状分析や整備計画に係る検討等	21
計		4	計		21
B.西谷技術コンサルタント株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	無電柱化の進捗状況に係る検討	3			
計		3	計		0
C.国土技術政策総合研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査発注・進捗管理	8			
計		8	計		0
D.株式会社建設技術研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	無電柱化の手法に係る検討	8			
計		8	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中部地方整備局	調査発注・進捗管理	4	—	—
2	近畿地方整備局	調査発注・進捗管理	3	—	—
3	中国地方整備局	調査発注・進捗管理	3	—	—
4	関東地方整備局	調査発注・進捗管理	2	—	—
5	東北地方整備局	調査発注・進捗管理	1	—	—
6	九州地方整備局	調査発注・進捗管理	1	—	—
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	西谷技術コンサルタント(株)	鳥取エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	3	—	—
2	(株)建設環境研究所	岐阜エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	2	—	—
3	(株)近代設計	柱状トランスを用いたコスト縮減に係る検討	2	—	—
4	大日コンサルタント(株)	静岡エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
5	(株)福山コンサルタント	山形エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
6	八千代エンジニアリング(株)	奈良エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
7	(株)三重新成コンサルタント	三重エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
8	(株)近代設計	東京エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
9	三州技術コンサルタント(株)	鹿児島エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—
10	(株)近代設計	山梨エリアにおける無電柱化の進捗状況に係る検討	1	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土技術政策総合研究所	調査発注・進捗管理	8	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	無電柱化の整備手法に係る検討等	8	1	100%
2	日刊建設通信新聞社	業務発注情報の掲載	0.02	—	—
3	日刊建設産業新聞社	業務発注情報の掲載	0.02	—	—
4	日刊建設工業新聞社	業務発注情報の掲載	0.02	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人日本総合研究所	無電柱化の現状分析や整備計画に係る検討等	21	1	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					